

# 米FOMCは景気下支えのための利下げの可能性を示唆

- 米連邦公開市場委員会(FOMC)は政策金利を据え置き。FOMC参加者の年内の政策金利予想は据え置きが大勢。
- FOMC参加者17人のうち8人は年内の利下げを予想。FOMC声明文は、景気下支えのための利下げの可能性を示唆。
- 金利先物はFOMC参加者より積極的な利下げを織り込む。米国株は利下げ観測が株価を支える金融相場の様相に。
- 足元では米10年国債利回りと米国株の予想配当利回りとの格差が縮小。高配当企業への注目が増す可能性も。

## FOMCは政策金利の据え置きを決定

米連邦準備制度理事会(FRB)は6月18-19日の連邦公開市場委員会(FOMC)で、大方の市場予想通り、政策金利を2.25-2.50%で据え置き決定をしました。

今回、FOMC参加者の2019年末の政策金利見通しの予想は、参加者全体の中央値で2.375%となり、年内の政策金利据え置きの見方が大勢となりました(図1)。

## FOMC内部で利下げ派の見方が台頭しつつある

もっとも、FOMC参加者17人のうち半数近い8人は年内の利下げ予想を示すなど、FOMC内部で利下げ派の見方が台頭しつつあることが示唆されました。このうち7人の参加者は2019年の政策金利の予想を1.875%とし、年内2回の政策金利の引き下げを見込んでいる模様です。

加えて、FOMC声明文でも、「先行きの不透明感が増している」との言及がなされ、「今後の経済情勢を注視しながら、景気拡大を支えるため適切な行動を取る」と利下げの可能性を示唆する文言が盛り込まれました。

## 金利先物市場は積極的な利下げを織り込む

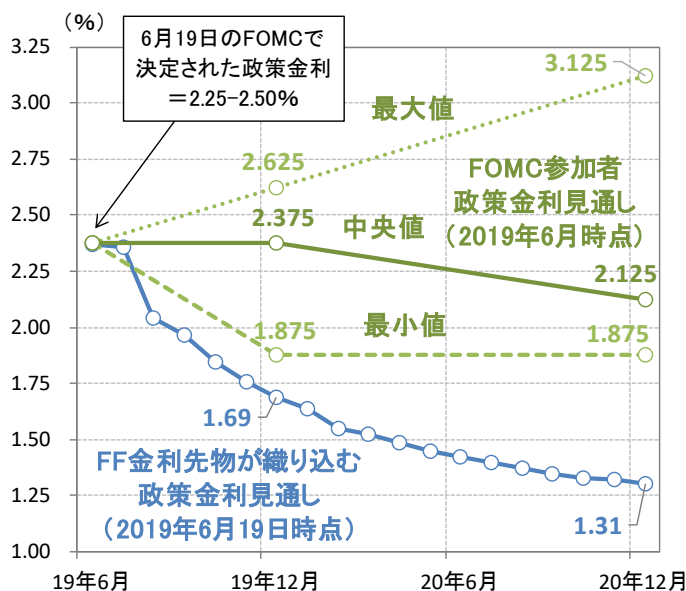
今回のFOMCでは、市場が織り込む利下げ観測にFOMC参加者の見方が徐々に近づきつつあることが示されましたが、市場はFOMCに対してさらに積極的な利下げを求めています。6月19日時点のFF金利先物は2020年末までに計4回の利下げを概ね織り込んでいます(図1)。

## 金利低下から高配当銘柄への注目が増す可能性

米国景気の不透明感や米中貿易協議の先行き懸念が残る中、足元の米国株式市場はFRBの利下げ観測が株価を支える金融相場の様相が強まりつつあります。

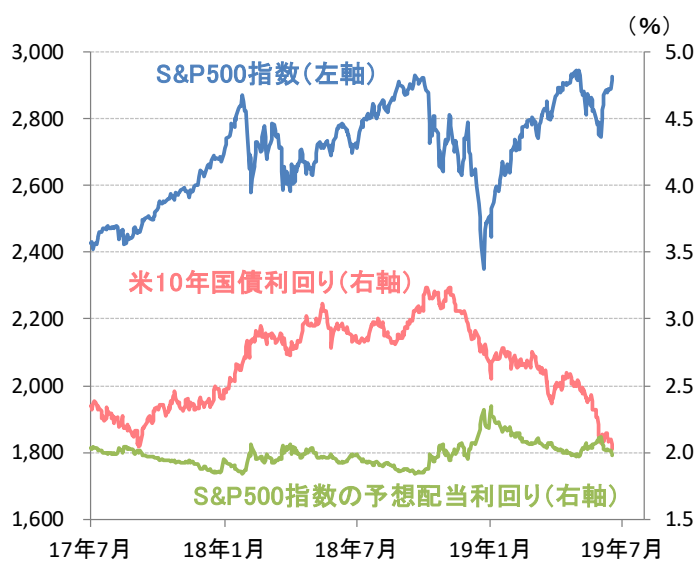
足元では米10年国債利回りと米国株の予想配当利回りとの格差が急速に縮小しており、米国株への投資に当たって高配当企業への注目が増す可能性もあります(図2)。

図1:FF金利先物とFOMC参加者の政策金利見通し



(出所)米連邦公開市場委員会(FOMC)、ブルームバーグ  
(注)FOMC参加者の政策金利見通しは中央値。

図2:米国株と米10年国債利回り、配当利回りの推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2017年7月3日~2019年6月19日

●当資料は、説明資料としてレッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。